

第二次中期計画（2021～2025）

～次世代に向け飛躍するKAETSU～



学校法人 嘉悦学園

理事長メッセージ

第二次中期計画のスタートにあたり

嘉悦学園理事長の植村です。日ごろ、皆さまにおかれましては、本学園のホームページなどを通じ、本学園の現状をご理解いただき、誠にありがとうございます。

嘉悦大学とかえつ有明中・高等学校を設置校とする嘉悦学園は、1903年（明治36年）に嘉悦孝が「女子にも経済教育を授ける」という崇高な理念に基づいて創立しました。以来、「怒るな働け」を校訓に、118年の歴史を有する学園であります。

本学園は2018年度に第一次中期5ヵ年計画を策定しました。以来、健全かつ順調に進展してきましたが、この1年はコロナ禍という突然のパンデミックに襲われる一方、急テンポで進むデジタル社会の到来、地球環境保全の強い要請、多様化と分断の社会などが出現しました。この変化により教育界も大きな影響を受け、経営は大きな変換を迫られています。

このため、現在の経営計画を改め、2021年度から始まる新たな経営5ヵ年計画を策定致しました。どのような環境であれ、本学園は「教育の質を保証」、次に「学生・生徒から学業の脱落者を出さない」、さらには「学生・生徒が卒業したらお別れではなく、お互いに一生保てる絆の構築」を旗印に経営を推進して参ります。卒業後もポートフォリオのようなICTにより繋がっていける環境を整備したいと考えております。

コロナ禍の中、校舎が閉鎖されるなど、教育界は未曾有の危機に陥りました。幸いにも、かえつ有明中高はいち早くオンライン授業を開始し、東京都内でベストスリーにランクされるという高い評価もいただきました。嘉悦大学では、学生全員が持つパソコンを使って、オンライン授業に参画するなど、教育の質の担保はむしろ向上したと自負しております。

コロナ禍によって、家計急変などに見舞われた家庭には、国や地方自治体の授業料支援制度を洩れなく活用するとともに、本学園独自の授業料支援制度を創設致しました。こうした対応策が功を奏して、学業脱落者は少数に留まっております。今後とも、きめ細かな支援策を推進して参ります。

新たな中期計画を皆さまにご覧いただき、荒波に向かって強く進んでいる本学園を何卒、今後ともご支援下さるよう心からお願い申し上げます。

理事長 植村 裕之

学長メッセージ

嘉悦大学は、学園都市として知られる東京都小平市にキャンパスを置き、開学以来「実学・実務・実践教育」を展開してきました。第二次中期計画でも、新カリキュラムを策定し、より進化した「創造的実学教育」を学ぶとともに、学生の将来に向けた「社会人基礎教育」を提供していきます。学修支援を充実させるための重点施策として、DXという新しい時代に対応した対面とオンラインのハイブリッド型授業を実現させる教室環境、図書館のe-Library化などを組み合わせることにより、「教育の質向上」を目指します。

学生が社会人として成長する第一歩となる就職支援も重点課題です。就職相談や情報提供など、きめ細かなキャリア教育を実践していきます。また、近隣の皆さまとの交流は欠かせません。学術研究や社会貢献活動を強化することにより、地域や社会との連携を図ってまいります。学生たちが安心してキャンパスライフを送れるようバックアップするために策定したのが今回の中期計画とご理解ください。

嘉悦大学 学長 井上行忠

校長メッセージ

4月1日より新しく校長に就任した前嶋です。第二次中期計画のスタートにあたり、かえつ有明中高が重点目標として掲げるのは、まず新たなビジョンの浸透、徹底です。小畑秀文前校長が推し進めてきた教育理念「生徒一人一人の個性や才能を生かし、より良い世界を創り出すために主体的に行動できる人間へと成長できる基盤の育成」をベースにした本校の新たなビジョンは「生徒が豊かな人生を送る」です。「生徒」を主語にしたこのビジョンを最上位概念とし、これを達成するためのさまざまな教育施策を展開します。

このほか、学習指導要領改訂に伴う新しいカリキュラムの策定、大学入学共通テスト等の一連の大学入試改革への対応、本校の大きな特長である国際生（帰国生）へのサポートの強化、質の高い生徒確保、部活動のあり方の見直し等を重点目標として推進いたします。新校長として責任と覚悟を持って中期計画の遂行に努めてまいります。

かえつ有明中・高等学校 校長 前嶋正秀

I. 第二次中期計画のビジョン



II. 第二次中期計画の重点目標

『嘉悦の実学教育』の 一層の充実

- 学生・生徒が入学から卒業、さらに卒業後も成長できる実学教育
- DX推進による次世代型教育を提供し、教育の質の向上を図る

教職員の働きがい・ エンゲージメントの向上

- 教職員の世代バランス改善による若手・中堅の育成を図る
- 教職員が充実した毎日を感じながら働ける職場環境の整備

財務体質・ ガバナンスの強化

- 黒字基調を継続し、健全な財務体制を構築
- 新型コロナ対応など危機管理への臨機応変な体制の構築

III. 建学の精神・教育理念

校訓「怒るな働け」

校訓「怒るな働け」は実学思想を基礎とし、個人的処世術にとどまらず、横井小楠先生の説かれた「堯舜孔子の道を明らかにし、西洋器械の術を尽す、何ぞ富国に止まらん、強兵に止まらん、大義を四海（世界）に布くのみ」という抱負から発し、「怒るな」は人間の和、さらには平和を、「働け」は人間社会に欠くことのできない財の生産を意味する世界観、人生観で、世界平和を窮極の目的とした一大金言であって、本学園の伝統をもっとも端的に表現した深遠の哲理であるといえます。

教育目標

広い視野と寛容な心で公の精神を発揮し、より良い世界を創り出すため、自立と尊厳をもって主体的に行動する人材を育成する

教育方針

全教職員は、学生・生徒の人格形成も含めたきめ細かい教育指導を通じ、学ぶことの大切さと喜びを教え、卒業後の社会でも誇りと自信を持って生き抜く力を育てていく

嘉悦大学

1. 社会人として成長するための基礎力を修める
 2. 実学、実務、実践を学ぶ
 3. 自創、自律、共創および公の精神を涵養する
- を学修の基本とし、
社会の発展に自ら貢献する人材を育てる創造的な実学教育の実践

かえつ有明中・高等学校

1. 学び方を学ぶ
 2. 自分軸を確立する
 3. 共に生きる
- を学習の基本とし、
知識と資質・能力を身につける教育の実践

IV. 嘉悦大学、かえつ有明中・高等学校、学園全体・法人の施策

	学生生徒にとって魅力ある嘉悦	教職員にとって夢のある嘉悦	社会から信頼される嘉悦
大学	<ol style="list-style-type: none"> 1 新カリキュラムの策定による新しい時代に対応した創造的実学教育の実現 2 社会人として成長し続ける力をつけるキャリア教育の推進 3 学生に寄り添った学生支援の充実 4 学生増と学生のニーズの多様化に対応した人材の確保とキャンパスの整備 5 DX*やパンデミックに対応した教育・研究環境の整備 <p>*DX=デジタルトランスフォーメーション</p>	<ol style="list-style-type: none"> 7 大学内の組織改革  	<ol style="list-style-type: none"> 6 「質」を重視した入学者選抜の強化 8 大学広報の充実 9 社会や地域への貢献 
中高	<ol style="list-style-type: none"> 1 ICTによる多様な授業デザイン構築と新カリキュラム策定 2 生徒増に対応する教育環境整備 	<ol style="list-style-type: none"> 3 部活動改革の推進 4 教員研修制度の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 5 SDGs、社会教育の実現  
学園全体・法人	<ol style="list-style-type: none"> 7 中期計画を達成するためのPDCA体制の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1 職員の人事評価制度の導入 2 働き方改革の推進 3 教職員の成長を支援する制度の導入 5 既存業務見直しによる業務効率化推進 	<ol style="list-style-type: none"> 4 ガバナンス強化と規程・ルールの整備 6 災害・パンデミック等危機管理体制の強化

※大学（大学院含む）の中期計画については、認証評価において指摘された改善事項等を踏まえ、作成しています。次回認証評価、新カリキュラム導入に合わせ、一部を見直す予定です。